

震災対策本部ニュース 5号

第6陣 18日午前出発

—連休中も県外支援者搬送を含めて6台の運行決定—

本日9時半前に、松島への物資搬送を担当する上田君、成田君（いずれも労組専従）と坂病院で23日まで診療支援に入る放射線技師の阿部君の3名で編成された第6次支援隊が出発した。連休中も更に6台の支援車の運行を計画している。 詳細は裏面

支援先 放射線被曝の心配はなし 18日朝現在

昨日開かれた全日本民医連災害対策会議で、現状では福島原発事故による宮城県での放射線被曝の心配は無いことが確認され、全国支援を既定方針通り進めることができた。ただし、原発事故の状況は刻々と変化しているので、坂病院近辺での放射線量測定を開始し、定期的に全日本対策本部にその結果を集中し、重大な変化が生じた場合の対応は全日本対策本部から発信することとした。

また、福島県でも支援物資を必要としているが、福島への全国支援については、週明けまでに、全日本民医連被曝問題委員会を開催して対応方針を明らかにすることとした。

協立・リハ病院近辺の放射線値定時測定開始——18日時点問題なし

念のため、18日から協立病院付近での放射線値の測定を開始した。18日時点では測定器の針は全く動かず、問題のない状況であることが確認された。

県内各地で被災者の受入開始—鶴岡市内も240人

地震・津波被害に加えて、放射線被曝を心配する被災者・避難者の受入が山形県でも始まっている。鶴岡でも温泉施設や宿泊設備のある公共施設に、18日時点で240名の受入が行なわれている。それらの人々が受診をされる場合には、保険証がなくても受け付けることや、窓口負担金をもらわなくても良いことが厚労省通知で発信されている。各事業所で通知内容を確認し適切に対処されたし！

連休中の対策本部体制

連休中も支援車両を運行しますし、日本海ルートで県外支援隊が鶴岡に入ってくることへのサポートも必要ですので、対策本部体制を維持します。岩本副理事長と松本専務に加えて、以下の当番体制としました。

医療生協各事業所での緊急対応についても対策本部へ集中して下さい。

	午 前	午 後
3月19日	五十嵐組織部長	本間協立事務局長
3月20日	阿部リハ事務長	佐藤篤本部事務局長
3月21日	加藤介護部長	丸山総務部長

対策本部は
24-6466 です

